

各 位

2018年7月11日
株式会社インプレス

経済ニュースの「？」もわかる
新刊『いちばんやさしい為替の教本 人気講師が教える実務で使える通貨と経済のしくみ』
7月13日発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、為替相場が動くしくみをわかりやすく図解する新刊『いちばんやさしい為替の教本 人気講師が教える実務で使える通貨と経済のしくみ』を2018年7月13日（金）に発売します。



■為替を通じて経済のしくみがわかる

ニュースでは日々「東京外国為替市場では1ドル109円32銭から109円33銭で取引されています」などと為替相場が読み上げられます。しかし、どういうしくみで通貨の値段が変動するのか、きちんと理解している人は少ないのではないのでしょうか。為替は、日本円と米ドルなど、通貨と通貨を交換するしくみです。そのため、為替のしくみを理解すれば、世界の経済がどのように動いているかが見えてくるのです。

■仕事で使える知識が身につく

金融業界はもちろん、小売や物流、輸出入など、為替の影響を受ける業種はたくさんあります。「この先、通貨高に動くのか、通貨安に動くのか」といった為替相場を正確に予測することは難しいですが、どんなときにどういう理由で為替相場が動くのかを知ることは、その仕事を行ううえで武器になるでしょう。本書では、世界の経済活動が為替相場にどう影響するのかを丁寧に解説しています。金融政策と為替の関係、国際政治と為替の関係、主要な経済指標の読み方など、ビジネスパーソンが知っておくべき経済の知識が広く身につくような構成になっています。

- ・ 経済ニュースが理解できる程度の教養を身につけたい人
- ・ 主要な経済指標の読み方を知りたい人
- ・ 円高・円安がどのような仕組みで決まるか知りたい人
- ・ 金融政策の基礎知識を身につけたい人
- ・ さまざまな通貨の特徴を知りたい人
- ・ 為替取引のリスクとリスクヘッジを理解したい人

Lesson [円高/円安]

07 「円高」「円安」の意味を知ろう

Chapter 1
為替の基礎知識



このレッスンのポイント

為替のニュースでは、必ずといってよほど、円高、円安という用語が出てきます。ひと言でいえば、円高とは「円の価値が上がること」、円安とは「円の価値が下がること」です。ここでは、円高・円安について説明します。

○ 円高・円安は、円の価値の上がり下がりのこと

経済や為替のニュースでは、必ず円高、円安という言葉が出てきます。「1ドル=100円だと円高、120円だと円安」というような基準が決まっているのでしょうか？ そうではありません。

図表07-1のように、ある時点と比べて円

の価値が上がれば円高、下がれば円安と呼んでいるのです。たとえば、「1か月前に比べて円高になった」とか、「これからしばらくは円安が続くだろう」というような言い方をします。

▶ 円の価値 図表07-1



円高・円安というのは、絶対的な基準があるわけではありません。相対的に円の価値が上がれば円高、下がれば円安、ということです。



○ 円高とは「円の値段が高くなること」

「円の価値」とは、言い換えれば「円の値段」です。円の値段がいくらなのかは、別の通貨で表します。たとえば、「100円玉1枚の値段で説明しましょう（図表07-2）。昨日は、100円玉1枚の値段は1ドル（100円=1ドル）でした。ところが、今日は2

ドル（100円=2ドル）になっていました。100円玉が1ドルから2ドルに値上がりしています。これが「円高」です。「昨日に比べて今日は円高になった」というような言い方をします。

▶ 100円玉の値段で見る円高 図表07-2



100円玉の値段が、1ドルから2ドルに上がった=円高

○ 円高を1ドル基準に直す？

ドル/円の為替相場は、1ドル=○○円という形式で表します。ここでは、前項で解説した円高の例を使って、1ドルを基準にして計算し直してみましよう。図表07-3をご覧ください。昨日は、1ドルの値段は100円（1ドル=100円）でしたが、今日は1ドルが50円（1ドル=50円）になっています。ドルの価格が半分になって

いるので、ドルに対して円が倍になったといえます。ここが感覚的にわかりにくいところなのですが、1ドルを基準にした場合、1ドル=○○円の「○○」は、より小さい額のほうが円高ということになるのです（ここでは1ドルが100円から50円になったので「円高」なのです）。

▶ 1ドルを基準にした場合の円高 図表07-3



1ドルの値段が、100円から50円に下がった=円高

『100円玉の値段が1ドルから2ドルに値上がると「円高」のように、基本の「き」から図をもちいて丁寧に解説しています。

■ 目次

- [CHAPTER 1] 為替の基礎知識
- [CHAPTER 2] 為替相場の決まるしくみと外国為替市場
- [CHAPTER 3] 為替相場が動く経済的要因を知ろう
- [CHAPTER 4] 金融政策と為替の関係
- [CHAPTER 5] 国際政治と為替の関係
- [CHAPTER 6] おもな通貨の特徴や傾向を知ろう
- [CHAPTER 7] 為替取引のリスクとリスクヘッジを正しく理解しよう
- [CHAPTER 8] 為替相場を動かす経済指標
- [CHAPTER 9] 為替の情報を収集しよう

Chapter 1
為替の基礎知識

■書誌情報



書名：いちばんやさしい為替の教本
人気講師が教える実務で使える通貨と経済のしくみ

著者：神田卓也
発売日：2018年7月13日（金）
ページ数：224 ページ
サイズ：A5 判
ISBN：978-4-295-00407-3
価格：本体 1,500 円＋税
電子版価格：1,350 円＋税 ※7月発売予定 ※インプレス直販価格

◇書誌情報：<https://book.impress.co.jp/books/1117101124>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/500407.jpg>

■著者プロフィール

神田卓也

株式会社外為どっとコム総合研究所 取締役調査部長。1991年9月、4年半の証券会社勤務を経て株式会社メイタン・トラディション（現：株式会社トラディション日本）に入社。

為替（ドル／円スポットデスク）を皮切りに、資金（デポジット）、金利デリバティブなど各種金融商品の国際取引仲介業務を担当。2009年7月に外為どっとコム総合研究所の創業に参画、2011年12月より現職。FXの個人投資家へ向けた為替情報の配信を主業務とする傍ら、相場動向などについて、Web・新聞・雑誌・テレビ等にコメントを発信。

Twitter アカウント：@KandaTakuya

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計7,000万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

TEL：03-6837-5034 E-mail：pr-info@impress.co.jp URL：<https://www.impress.co.jp/>